

資料5 主な海溝型地震の評価結果

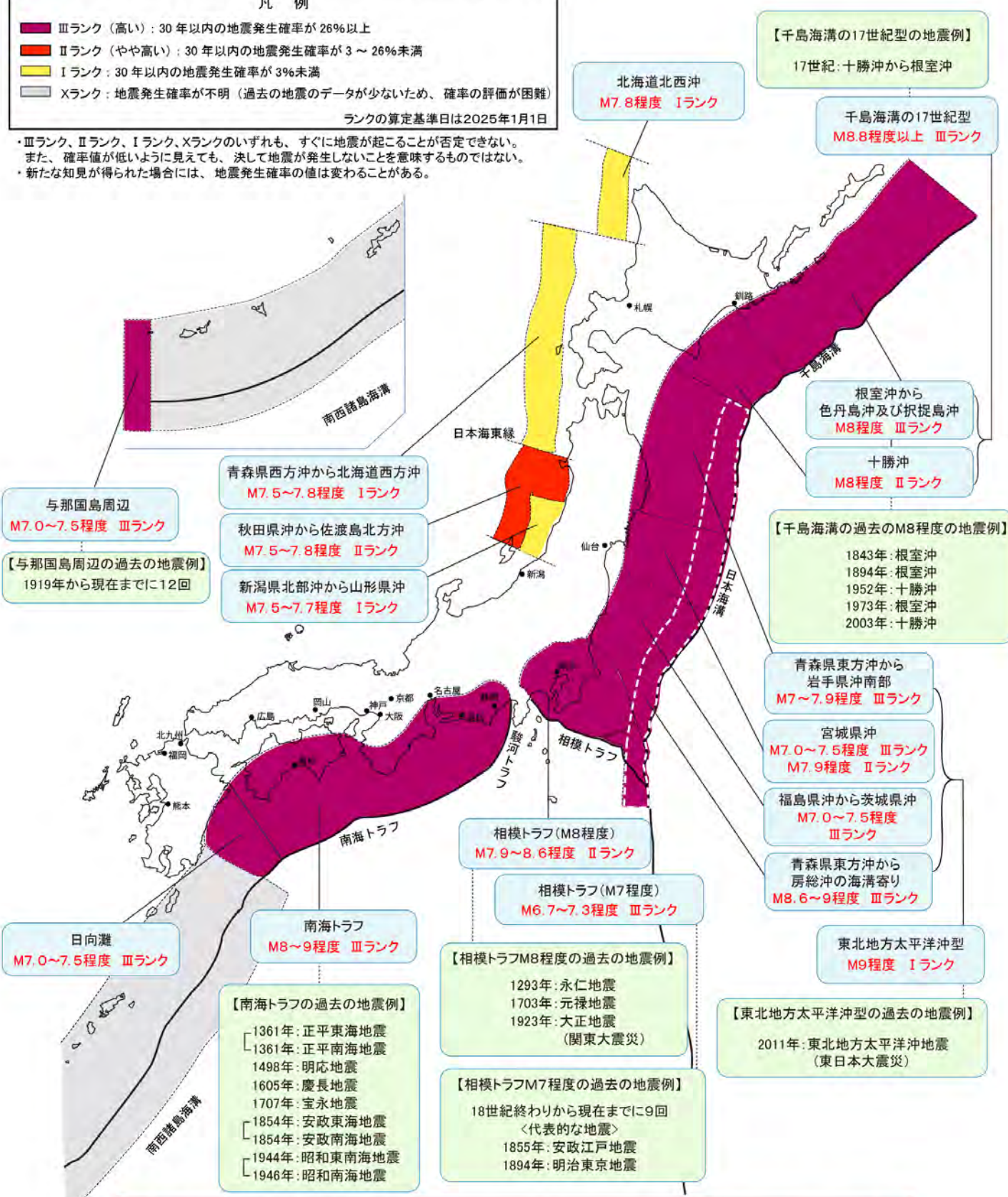
2025年1月15日公表

凡例

- Ⅲランク（高い）：30年以内の地震発生確率が26%以上
- Ⅱランク（やや高い）：30年以内の地震発生確率が3～26%未満
- Ⅰランク：30年以内の地震発生確率が3%未満
- Xランク：地震発生確率が不明（過去の地震のデータが少ないため、確率の評価が困難）

ランクの算定基準日は2025年1月1日

- ・Ⅲランク、Ⅱランク、Ⅰランク、Xランクのいずれも、すぐに地震が起こることが否定できない。また、確率値が低いように見えても、決して地震が発生しないことを意味するものではない。
- ・新たな知見が得られた場合には、地震発生確率の値は変わることがある。



【千島海溝の17世紀型の地震例】
17世紀：十勝沖から根室沖

千島海溝の17世紀型
M8.8程度以上 Ⅲランク

北海道北西沖
M7.8程度 Ⅰランク

根室沖から
色丹島沖及び択捉島沖
M8程度 Ⅲランク

十勝沖
M8程度 Ⅱランク

【千島海溝の過去のM8程度の地震例】
1843年：根室沖
1894年：根室沖
1952年：十勝沖
1973年：根室沖
2003年：十勝沖

青森県西方沖から北海道西方沖
M7.5～7.8程度 Ⅰランク

秋田県沖から佐渡島北方沖
M7.5～7.8程度 Ⅱランク

新潟県北部沖から山形県沖
M7.5～7.7程度 Ⅰランク

与那国島周辺
M7.0～7.5程度 Ⅲランク

【与那国島周辺の過去の地震例】
1919年から現在までに12回

青森県東方沖から
岩手県沖南部
M7～7.9程度 Ⅲランク

宮城県沖
M7.0～7.5程度 Ⅲランク
M7.9程度 Ⅱランク

福島県沖から茨城県沖
M7.0～7.5程度 Ⅲランク

青森県東方沖から
房総沖の海溝寄り
M8.6～9程度 Ⅲランク

相模トラフ(M8程度)
M7.9～8.6程度 Ⅱランク

相模トラフ(M7程度)
M6.7～7.3程度 Ⅲランク

【相模トラフM8程度の過去の地震例】
1293年：永仁地震
1703年：元禄地震
1923年：大正地震
(関東大震災)

【相模トラフM7程度の過去の地震例】
18世紀終わりから現在までに9回
<代表的な地震>
1855年：安政江戸地震
1894年：明治東京地震

東北地方太平洋沖型
M9程度 Ⅰランク

【東北地方太平洋沖型の過去の地震例】
2011年：東北地方太平洋沖地震
(東日本大震災)

南海トラフ
M8～9程度 Ⅲランク

【南海トラフの過去の地震例】
1361年：正平東海地震
1361年：正平南海地震
1498年：明応地震
1605年：慶長地震
1707年：宝永地震
1854年：安政東海地震
1854年：安政南海地震
1944年：昭和東南海地震
1946年：昭和南海地震

日向灘
M7.0～7.5程度 Ⅲランク

○ ランク分けに関わらず、日本ではどの場所においても、地震による強い揺れに見舞われるおそれがあります。